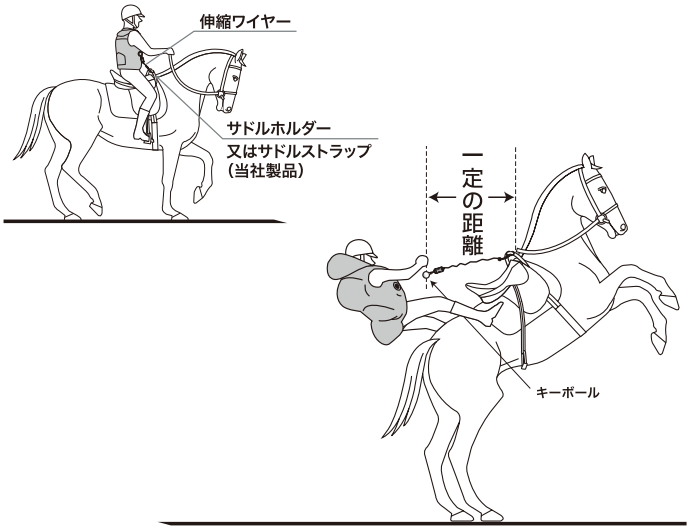
2 概　要



ヒットエアー（衝撃緩和保護システム）は、乗馬の際、上衣として着用します。

アクシデントにより馬から**一定の距離**〈※1〉離れた瞬間に、キーボールが抜け、キーボックスが作動しカートリッジボンベの炭酸ガスが各気室に送り込まれ、瞬間的にエアバッグが膨張します。その膨張した気室が、人体と外部の接触物の間に入り、衝撃を緩和する仕組となっています。このような特性を持って人体各部への損傷を少しでも軽減出来る事を目的として作られたシステムです。

「本製品は、着用していれば必ず安全である、又、安全を保証するというものではありません」

キーボールは、簡単に抜けない仕組みになっており（キーボックス〈P9〉参照）走行時に予想される、ライダーのスタンディングなどの動作は、伸縮ワイヤーによって吸収され作動しないようになっています。

〈※1〉一定の距離とは、ヒットエアーを着用し、馬に股がりワンタッチコネクターを接合して鞍とつながった状態で、鞍に固定されている伸縮ワイヤーが何の障害〈※2〉もなく伸びきった状態の距離をいう。方向は前後左右を問わず同じである。

〈※2〉障害とは、ヒットエアーを着用し、ワンタッチコネクターを接合して鞍とつながった状態で、伸縮ワイヤーに障害物（馬、荷物、その他）などが触れたりからんだ場合の事をいう。これらの場合、一定の距離に至らなくても作動する事があります。

6 作動後の再生

再生するには

一度作動したヒットエアーシステムは、取扱店で〈メンテナンスサービス〉をして、再生させる事をおすすめします。ここに紹介するセッティング方法で、各自で再生する事はできますが、正しくセットしないで利用した場合、正常に作動しない場合があります。又、作動した際などに外傷等の異常が発生したものは再生できません。以上の点を十分考慮してお取り扱いください。

再　生　方　法

作動展開
- 異常有り → 取扱店に持ち込み、メンテナンスチェックにより、再生可能か確認してもらい指示を受ける
- 異常無し → 取扱店に持ち込み、必要な部品（カートリッジボンベ等）を交換して再生する
- 異常無し → 各自で再生する **※未使用カートリッジボンベと付属の再生工具（セッティングボルト、六角レンチ）が必要です**

※附属品として六角レンチとセッティングボルトが付いています

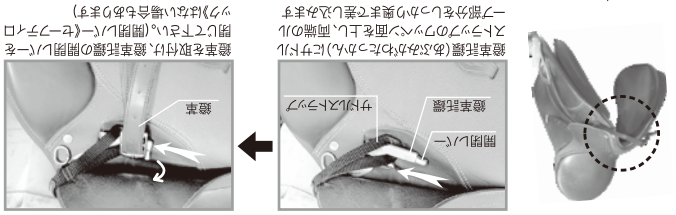
各自で再生するおおまかな手順　詳しくは次のページの「再生作業」を参照下さい

1. 未使用カートリッジボンベと再生工具を準備します　〈P15〉1 参照
2. キーボックスに工具を使ってキーボールをセットします　〈P15〉2~5 参照
3. カートリッジボンベを外します　〈P15〉6 参照
4. エアバッグ気室から炭酸ガスを抜き出します　〈P16〉7 参照
5. 未使用カートリッジボンベを取付けます　〈P16〉9 参照
6. キーボックスのカバーを締めて完了です　〈P16〉10 参照

サドルストラップ（別売オプション）

サドルストラップは中心部分が二重仕様（ループ状）になっており、そこに伸縮ワイヤー2を取付け引けば伸縮ワイヤーが左右にずれる事なく固定されます。
長さは3種類、馬具に合った長さをお選びください。

サドルストラップの取付け方法



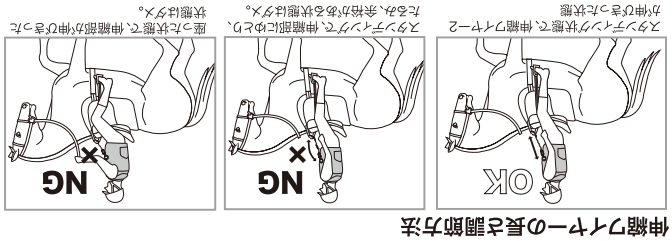
注意 1. 伸縮ワイヤーの緩結が不完全の場合、伸縮ワイヤーが伸びきった状態で、その緩結が外れてしまい作動しない恐れがあります。

注意 2. 伸縮ワイヤーに異常（傷、ひび割等）が発見された場合はすぐに新しいものに お取り替えください。
（※当社指定以外の伸縮ワイヤーは使用しないでください）

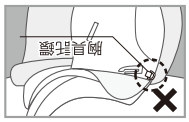
注意 3. サドルストラップが、劣化して縫い糸がほつれたり切れたりした時は使用しないでください。その場合すぐに新しいものに お取り替えください。劣化したサドルストラップを使用すると切れたエアバッグが作動しない恐れがあります。

注意 4. 鐙革金具（おふみやひっかん）に装着したサドルストラップは、状況によっては、作動の際に抜けてしまいエアバッグが膨らまない場合があります。

伸縮ワイヤーの長さ調節方法



注意 胸具乳腺へ伸縮ワイヤーを直接取付るのはおやめください。
胸具乳腺（サドルホルダー取付け用金具）へ伸縮ワイヤーを直接取付けると作動の際に金具が破損したり、根元からはずれて作動しない場合があります。



※ヒットエアーは、膨張した気室以外の場所は、衝撃緩和の効果はありません。
※デザイン、形状等は写真と異なる場合があります。

《一定の距離》離れた瞬間にキーボールが抜けエアバッグが展開します

ヒットエアーの各名称・形状